

## 【学校関係者評価結果】

1. 開催年月日:令和 3 年 6 月 14 日(月)

2. 出席委員:学校関係者評価の委員

所 属	任 期	種 別
特定医療法人社団春日会黒木記念病院 総合ケアセンター	2021 年 4 月 1 日から	同窓会会長
別府市医師会看護専門学校	2022 年 3 月 31 日まで	学識経験者
別府大学食物栄養科学部食物栄養学科		学識経験者

3. 評価内容と結果

1)評価内容:学内教員が行った①自己点検・自己評価, ②学生の授業・実習指導へのアンケート結果をもとに学校評価を受けた。

【自己点検・自己評価項目】

- I 教育理念・教育目的
- II 教育課程
- III 教育活動
- IV 経営管理
- V 入学
- VI 卒業・就業・進学
- VII 地域社会
- VIII 研究

2)評価者からの評価結果:

自己点検・自己評価を実施し、細かい分析により次年度につながっていると好評であった。ただし2020年の自己評価を4月に行っていることで自己評価の時期が遅く、次年度の計画に反映させることができにくいとの指摘を受けた。組織の中期計画による方向性の下での次年度計画ではあるが、自己点検・自己評価の実施時期を年度内早めに行う必要があると理解できた。学校経営として当然のことであるが、PDCA サイクルを回してより学生の成長に資する教育を行うことの必要性を確認した。

授業や実習指導の学生アンケート結果が高評価となっており、素直に教育を受け止めている学生像が窺えると支持を得た。学校側としても、教員の授業の工夫や実習において学生や実習指導者とコミュニケーションがとれている結果ではないかと評価を得た。

中期計画を受けて、校長が「学生に手間をかける」と明確に方向性を示していることが好ましい。学生と教員の距離が近いことは非常に良い。

評価項目の「地域社会」では、地域への貢献として健康教室や学習会などの開催等が考えられるが、日々の業務の傍ら実施に至ることは困難であると同意が得られた。しかし、同時に大学が行っているような学生の学習の場としての地域との接点も、今後の看護基礎教育では考えていかなければならない課題であると確認した。

「研究」では授業研究などから行う必要性が指摘された。